

経営比較分析表（令和5年度決算）

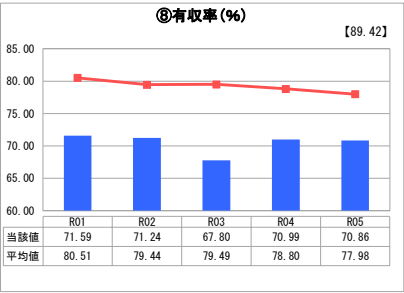
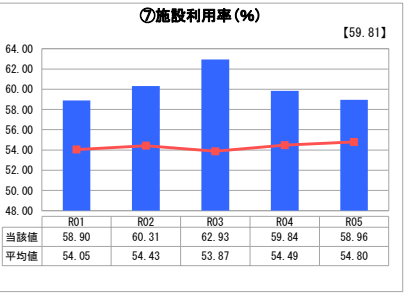
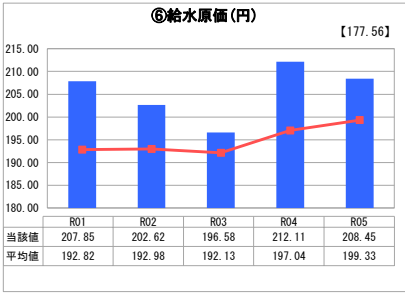
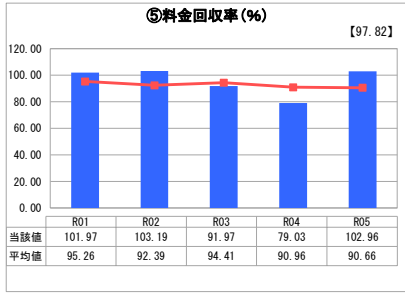
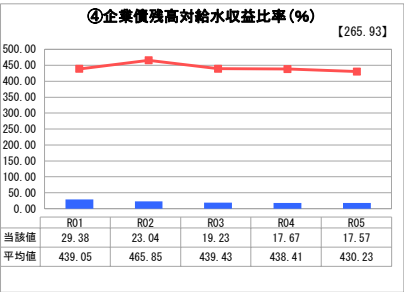
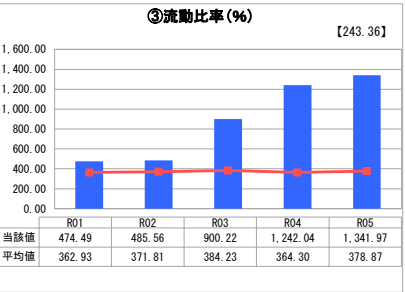
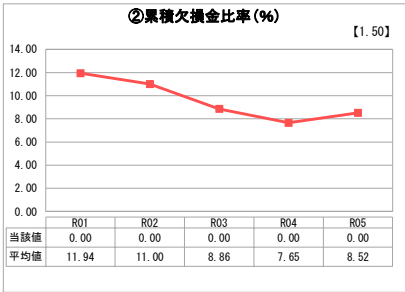
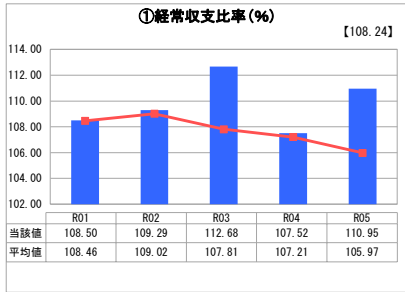
埼玉県 越生町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	95.85	99.77	3,465	

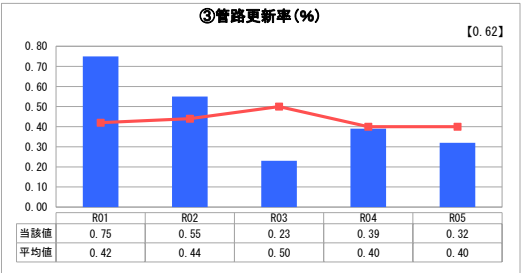
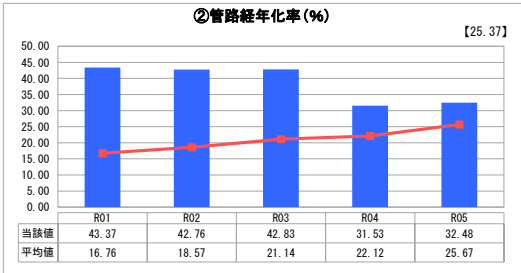
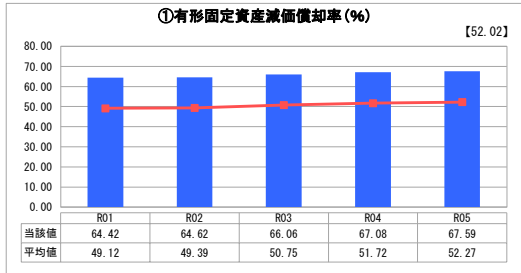
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,863	34.07	318.84
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,778	16.62	648.50

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」類似団体を下回りましたが経常収支比率は、100を超えております。

「②累積欠損金」累積欠損金は発生していないが、今後も発生しないよう注意していく。

「③流動比率」建設改良企業債の減少により、100%を上回り、増加した。

「④企業債残高対給水収益比率」類似団体と比較するとかなり低い水準となっているが、管路設備等の必要な更新が先送りの状態であり、償還金のみで年々減少している。

「⑤料金回収率」新型コロナウイルスの影響の影響により、令和4年度の給水収益は一時的に減少していたが、令和5年度はコロナ禍前の回収率に近づいた。

「⑥給水原価」物価高騰の影響を受け給水原価が増加している。また、漏水多発により類似団体と比較すると高くなっている。

「⑦施設利用率」給水人口の減少により施設利用率が下がった。類似団体と比較すると高い水準である。

「⑧有収率」類似団体と比較して低い値となっている。漏水調査を重点的に進め、有収率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産原価償却率」耐用年数が短い機械設備が多いことから減価償却費がかさむ傾向にある。設備の更新を計画的に行う。

「②管路経年化率」令和4年度に浄水施設の更新工事や配水管敷設替工事を実施したことで大きく減少した。

「③管路更新率」耐用年数を越えている管路が多く管路更新率が減少した。

全体総括

水道事業の収益の根幹を成す給水収益は、人口減少に伴い年々減少していくことが予想される。これに対する支出については、浄水方法等を含めた根本的な運営の見直しを図り、経費削減を推進しなければならない。また、施設の更新については、耐用年数を超える施設や管路の増加が顕著なため、優先的な箇所を特定し、的確かつ効率的な対策を推進していく。